



## 静岡県のスエヒロ工業 下請け業者にも「ワクチン休暇」を

調整困難な職域接種よりも「勤務の調整」で接種率引き上げを目指す

静岡県沼津市に本社がある株式会社スエヒロ工業は、2021年6月、社員・パート従業員を含め20人が新型コロナウイルスの接種を平日に行えるよう、特別休暇を設定しました。また、当社には約40社の協力会社があります。協力会社の職人らも、平日接種ができるように、現場の作業工程に合わせた日程の調整を行い、職場接種率の引き上げを目指します。

今回この決断に至った背景には、「職域接種」のハードルの高さがあります。当社・協力会社の、従業員をあわせると約150人。その家族を合わせても1000人にはなりません。また、当社のような規模では、医師・会場・誘導スタッフの確保などは困難と考えます。非現実的な職域接種の方法を模索するよりも、普段の現場管理能力や工期に合わせたスケジュールや人員調整を行っている当社だからこそできる方法で、接種率を上げる方法を検討した結果、今回の取り組みが決まりました。

普段から現場優先で仕事をする職人たちに、接種日に合わせた作業日程の調整を行うことで、接種希望者のスムーズな接種完了を図ります。（接種を強制するものではありません）

こうした取り組みを発信することで、職域接種という選択が難しい当社のような中小企業でも、下請け業者とともに、ワクチン接種へ向けた動きが活発になっていけばと思っています。そしてそれが、一日でも早い感染収束に繋がる、と考えます。

なお、当社の近隣自治体では、まだ社員・職人ら現役世代の接種について具体的な日程や申し込み方法は開示されていません。いろいろな状況を想定して、「接種プロジェクトチーム」を作り、複数回にわたってシミュレーションを行うことで、職場接種率（希望者）100%を目指し準備してまいります。

### 【スエヒロ工業のワクチン休暇制度の概要】

#### ワクチン休暇制度 概要

1	名称	新型コロナウイルスワクチン接種休暇（特別有給休暇）
2	対象	当社従業員（社員・パート・アルバイト含む）
3	適用期間	2021年6月15日から、ワクチン接種終了まで（政府が定める接種期間に準ずる）
4	休暇の範囲	本人がワクチン接種を行う当日と翌日（1回目・2回目ともに）

今回の休暇は、まず、平日での接種を促すことが目的です。当社では、建設業ではいまだ珍しいとされる完全週休2日制を導入していて、土日祝日が休みです。その一方で、法定有給休暇の消化があまり行われていないのも現状です。現時点で、社員の住む地域でどのように接種日程が組まれるのか未定ですが、この時点で、特別有給休暇を付与することを明らかにし、自身の有給休暇を申請するのではなく、ワクチン接種日と翌日は確実に休めるよう促します。

### 【「職域接種」の整備は難しくても…協力会社の“ワクチン休暇”をサポート】

建設現場では年1回の健診結果の提出が義務化されているにもかかわらず、当社の協力会社のうち、提出ができない業者が数年前まで多いのが現状でした。現場での仕事（納期）を優先するあまり、健康診断に行くことがで

きていない、ということが実情だったのです。そこで平成 26 年から、当社では年1回、協力会社の従業員が健康診断を受けられるように、健康診断の申し込みを代行して、決定した日程に健診に行くよう促しています。

これまでの経験から、現場での仕事を優先して生活をする職人が、新型コロナウイルスのワクチン接種を早い段階で自ら受けられるようにするには、その仕組みを作ることが必要です。当社は1次下請けとして建設現場を管理していることが多く、協力会社は2次下請けにあたります。“ワクチン休暇”という形で、現場の作業が滞りなく行うためにスケジュールを調整することが、当社の役割と考えます。

現在は、当社の周辺の市町では高齢者への接種が優先されていて、職人や当社社員が接種できるようになるまでは、まだ先のように感じています。「任意日にちを接種者が選べるのか」「複数の候補日から選択できるのか」「指定日に接種するのか」予想がついていない状況のため、当社の社長と協力会会長も含めた「接種プロジェクトチーム」で、様々なシチュエーションを想定したスケジュール調整について考える検討会を重ねて参ります。

スエヒロ工業代表取締役社長の櫻井弘紀は、「『職域接種』開始の各社の動きを見て、当社でもできればと考えたが、地方中小企業にとって現状の申し込みには難しいと感じる。近隣の企業などとの協議を重ねるよりも、自社で出来る最大限の方法を考えたところ、協力会社の従業員にも接種してもらおう日を設けてもらい、希望者が早い段階で接種を完了できるようにサポートすることだと思った。医師や会場の確保は我々中小企業にはハードルが高いが、当社の日ごろの現場管理能力と余裕を持った工期の設定を応用して、現実的な接種率の上昇につなげていきたい」と、意気込みを話しました。

## 【「職域接種」の整備は難しくても…協力会社の“ワクチン休暇”をサポート】

### 想定される課題

- ☑ 進捗状況・現役世代への接種開始のタイミングは自治体ごとで異なる
- ☑ 協力会社の従業員の住む自治体が異なるケースがあり、会社に業務を委託している場合、稼働できる従業員の数に変動が出る
- ☑ 工期が前倒しになったり後ろ倒しになったりする
- ☑ 現場ごとに職人の必要なスキルや資格が異なる

こうした様々なケースが複数重なる予想しています。実際のシミュレーションを通して、課題と向き合い、その解決方法を模索し、早い段階で職場接種率(希望者)を 100%にできるよう努めてまいります。

## 【会社概要】

名称	： 株式会社スエヒロ工業	本社	： 静岡県沼津市足高 287-29
代表取締役社長	： 櫻井弘紀	会社創業	： 1987年5月1日
従業員数	： 20人	協力会社数	： 約40社
事業内容	： 防水工事業、塗装工事業、左官工事業、内装仕上工事業、とび・土工工事業、石工事業、屋根工事業、タイル・レンガ・ブロック工事業、板金工事業、建設工事業		
売上高	： 2019年／976,581,744円・2020年／1,101,853,232円		
URL	： <a href="http://www.suehiro-kogyo.co.jp/">http://www.suehiro-kogyo.co.jp/</a>		